



スタッフの 人数がたりない



ゲームが自動再生するので
レクリエーションの監督いらず



待ち時間や
訪問のお客様が来た時も
一緒に楽しめます!

※手動で再生するゲームもございます。



レクリエーションが マンネリ化してしまう



バリエーション豊かな40種類以上の
プログラムで誰でも簡単に楽しめる



「声」を出したり
「体」を動かしたり
脳トレゲームも盛り沢山!

とっても
便利

TANO 活用法

TANO は現場のこんな「ごまっか」にお答えします



体操を 楽しくやりたい



遊びながら自然と運動不足を解消
座ったままでも楽しめる



複数人で協力して
「体」を動かしたり
「声」をだして楽しめます!



イベントを 盛り上げたい



最新鋭のレクリエーションツール
ゲーム大会で集客力UP!



ルールは簡単なので
子どもから大人まで
幅広い年齢層に大人気!

どうやって使っているの？

TANO おすすめ使用例を大紹介！

実際に「TANO」を導入している施設ではどのように活用しているのか？
気になるレクリエーションの使用例を調べてきました。



大人数で使用する場合

介護予防教室・福祉イベントなど

人数 20～50人

時間 30～40分

5分

25分

30分

40分

1 チーム分け

司会になる方が挨拶した後はさっそくチーム分けをしましょう。1チーム5～8人くらいが目安です。顔見知りでない方同士でも、ゲームを通じて自然と打ち解けていきます。



2 ゲームスタート

最初は声を出すゲームで緊張をほくしましょう。テーブルごとに分かれてチーム対抗戦をします。1チームあたりの時間は入れ替えも含めて4～5分です。



3 優勝チーム決定

チームごとの点数を記入して優勝チームが決定します。ホワイトボードに点数を書いておくのがわかりやすいです。景品などがあると更に盛り上がります。



4 脳トレゲーム

最後は個人戦で脳トレゲーム。ルールは簡単、間違えても良いのでとにかく「声に出して答える」こと。楽しく答えながら、近くの人との会話が広がります。



3つのキーワードをヒントにどの都道府県なのかを当てよう！

印刷もできます

施設で使用する場合

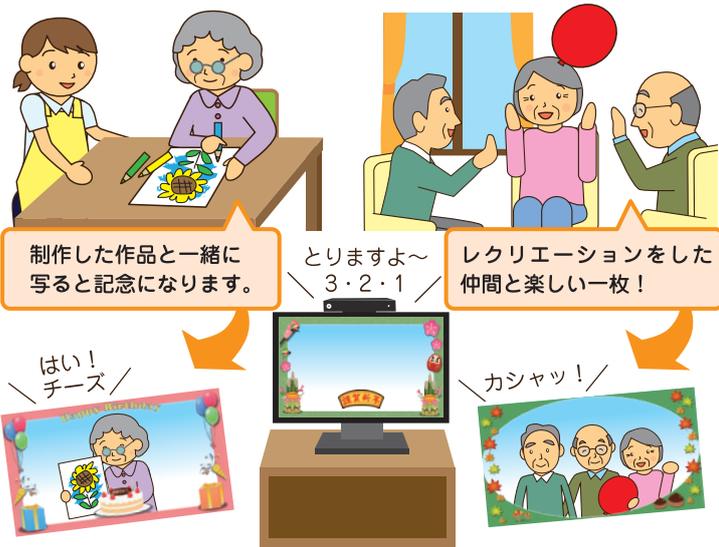
通所介護サービス・グループホームなど

人数 自由

時間 15～60分

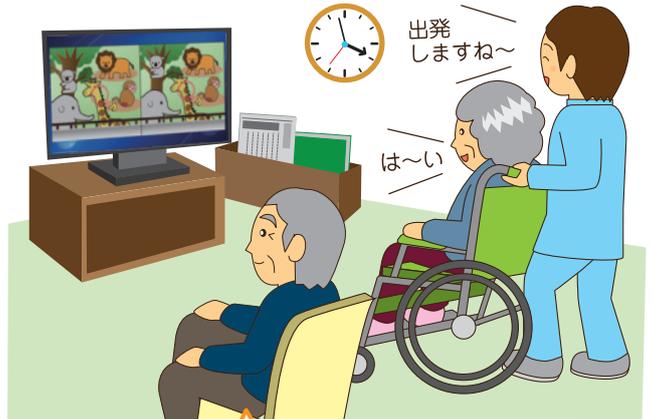
1 レクリエーション後の記念撮影

レクリエーションの後に記念撮影をしましょう。「写真」や「はい！チーズ」と言うだけで簡単に写真が撮れて、フレームも色々選べます。印刷してご家族に渡したり、スライドショーでも楽しめます。



2 待機時間などで少し時間があいたとき

順番に入る入浴時間や通所介護サービスでの帰宅時間など、利用者の方に待っていただく時間は、自動再生のプログラムがおすすめです。スタッフが忙しいときでも退屈しないでお待ちいただけます。

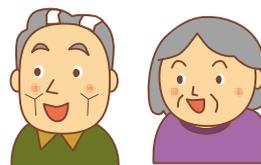


ランダムで問題が出題されます。一問数秒で終わるので、続きが気になることもありません。

自治体の介護予防教室 実施例

利用者の様子

- 70代の人を中心
- 50名程 元気な方が多い
- プロジェクタ使用
- 会議室の大型スクリーンを使用
- テーブルとイスの配列は会議室の講義スタイル
- 司会者が仕切る形で実施



プログラム内容

- ① 説明 (5分)
スクリーンに資料を写し脳トレゲームの効果を説明
- ② 都道府県 (7分)
重なり文字 (5分)
- ③ カネカネキャッチ (20分)
◇職員が見本を見せて説明と実演
◇チームによる対抗戦 1回目
◇三脚を使いキネクトセンサーを前方中心に設置列ごとに前に5名出てきてもらい実施
◇チームによる対抗戦 延長戦
- ④ 穴うめクイズ (13分)



実施コメント

- 最初は、重なり文字などを行い、そのあとカネカネなど参加型ゲームが良い
- お金キャッチは交流を深めるために良かった
- 穴うめクイズで参加者の多くが参加してくれた
- 穴うめクイズは一時停止を交え言葉を想像させるやり方で盛り上がった